

(6) 人口減少社会における地域力創造戦略（戦略6）について

◆人口減少社会における地域力創造戦略（戦略6）についての総合評価

（質問1-7-6 再掲）

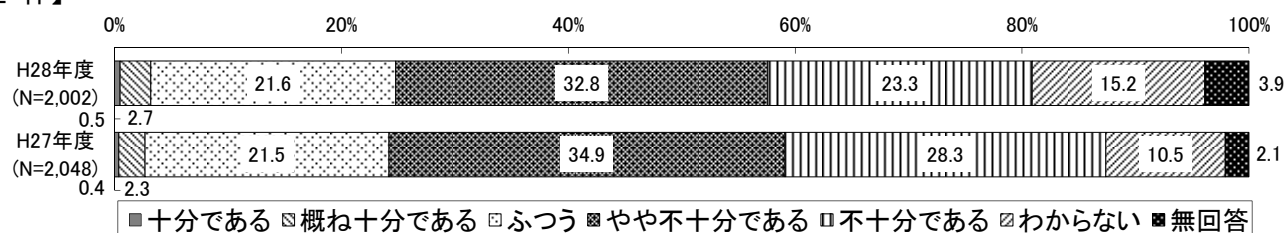
全体では、「十分である」が0.5%、「概ね十分である」が2.7%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の21.6%を合わせると肯定的に感じている人は24.8%となっており、他の取組に比べ低くなっている。「不十分である」が23.3%、「やや不十分である」が32.8%と不十分であると感じている人が半数を超えている。「わからない」は15.2%となっている。

前年度からは「不十分である」が減り、「わからない」が増えている。

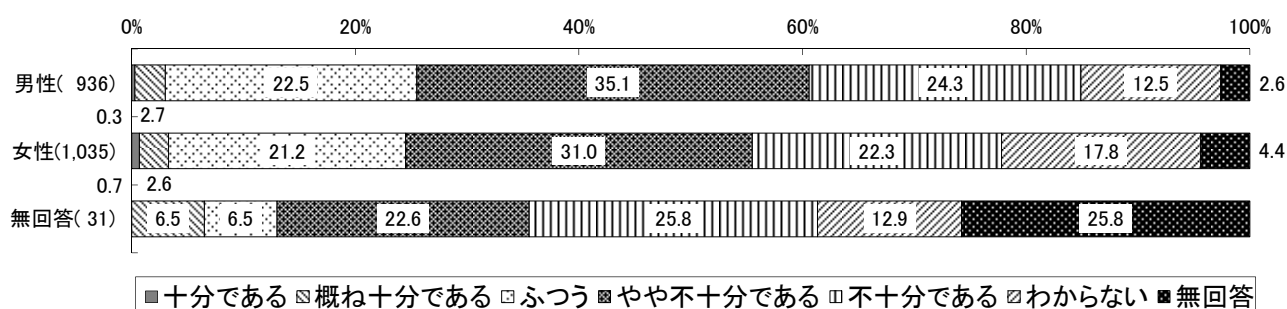
性別では、女性の方が「わからない」の割合が高いが、他に大きな違いは見られない。

年代別では、他の取組と比較して、年代による違いはあまり見られない。

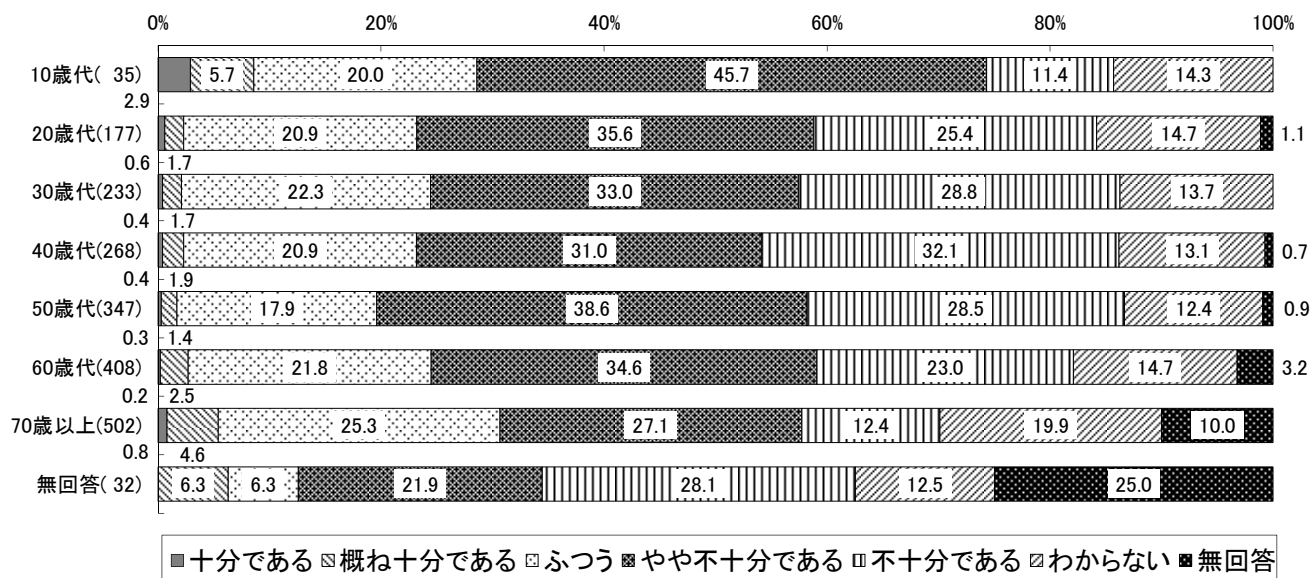
【全体】



【性別】



【年代別】



◆県内の人口減少対策・地域活性化に関することについて取組項目毎の評価

ア 秋田への定着、移住・定住の拡大への取組（質問1-6-1）

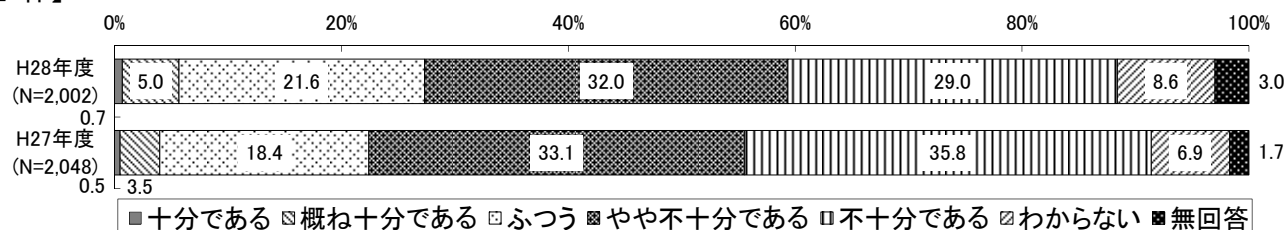
全体では、「十分である」が0.7%、「概ね十分である」が5.0%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の21.6%を合わせると肯定的に感じている人は27.3%となっている。「不十分である」の29.0%と「やや不十分である」の32.0%を合わせて約6割の人が不十分であると感じている。「わからない」は8.6%となっている。

前年度からは「不十分である」がやや減り、「概ね十分である」、「ふつう」が微増している。

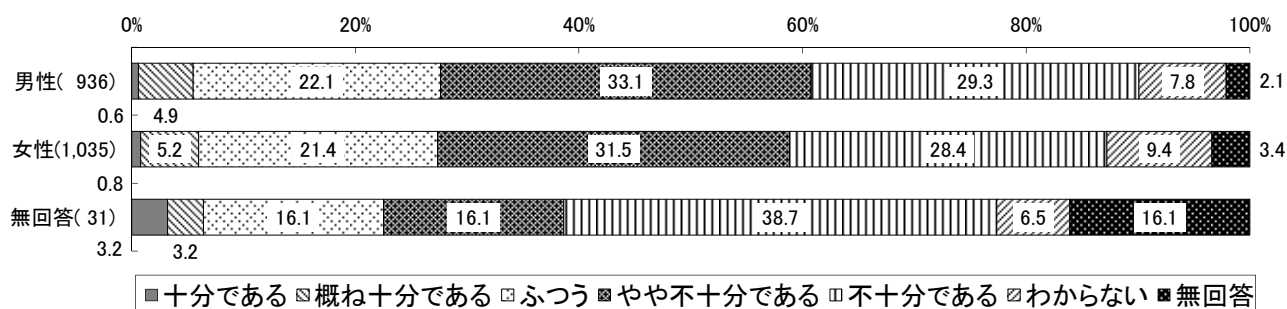
性別では、大きな違いは見られない。

年代別では、10歳代、70歳以上の評価が他の年代に比べ高い点は他の取組と同様だが、他には年代による大きな違いは見られない。

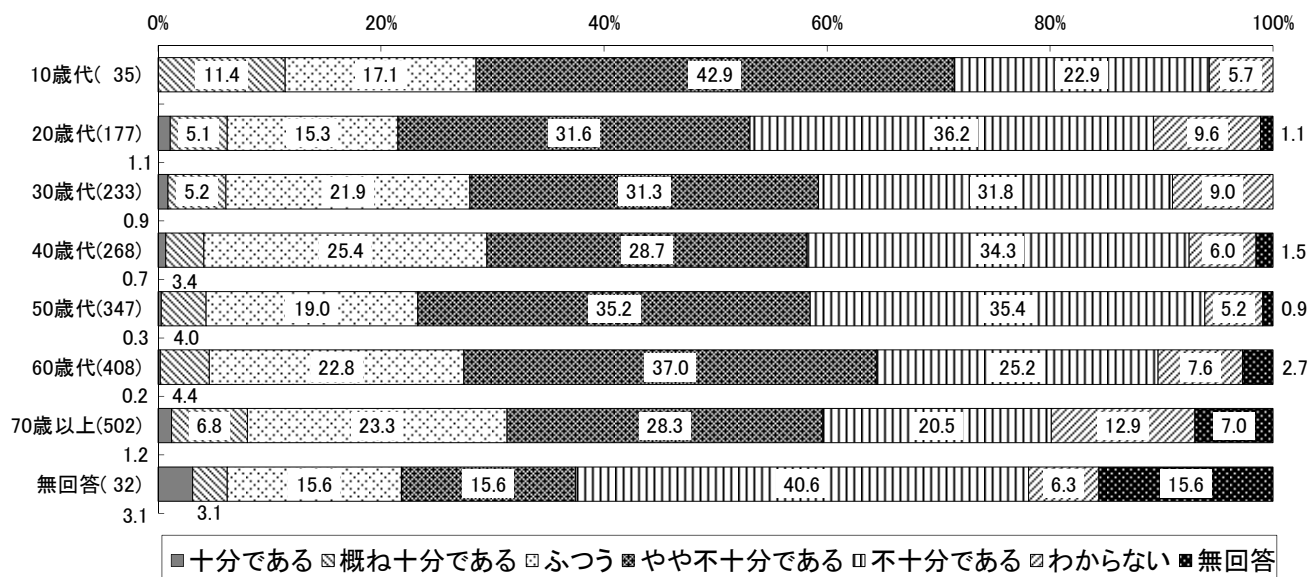
【全体】



【性別】



【年代別】



イ 官民一体となった少子化対策の推進（質問1-6-2）

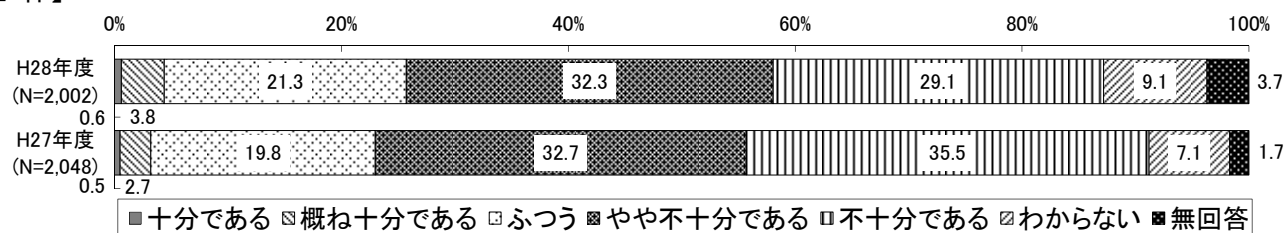
全体では、「十分である」が0.6%、「概ね十分である」が3.8%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の21.3%を合わせると肯定的に感じている人は25.7%となっている。「不十分である」の29.1%と「やや不十分である」の32.3%を合わせて約6割の人が不十分であると感じている。「わからない」は9.1%となっている。

前年度からは「不十分である」がやや減少している。

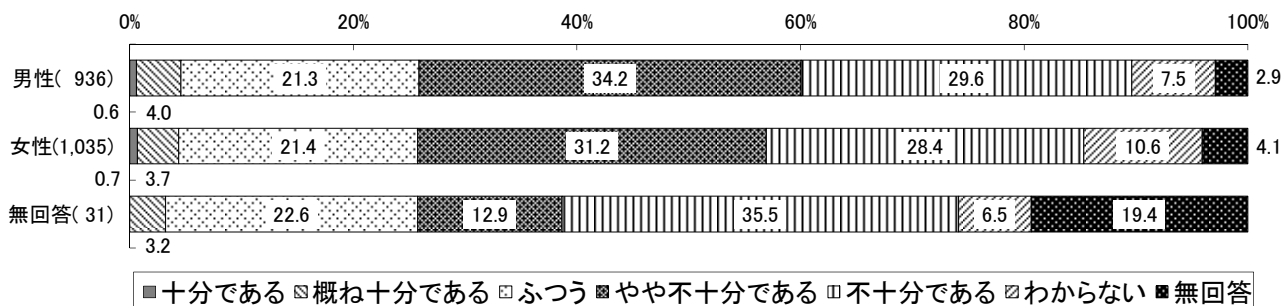
性別では、大きな違いは見られない。

年代別では、20歳代、30歳代で「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合が他の年代に比べ高く、ともに7割を超えている。

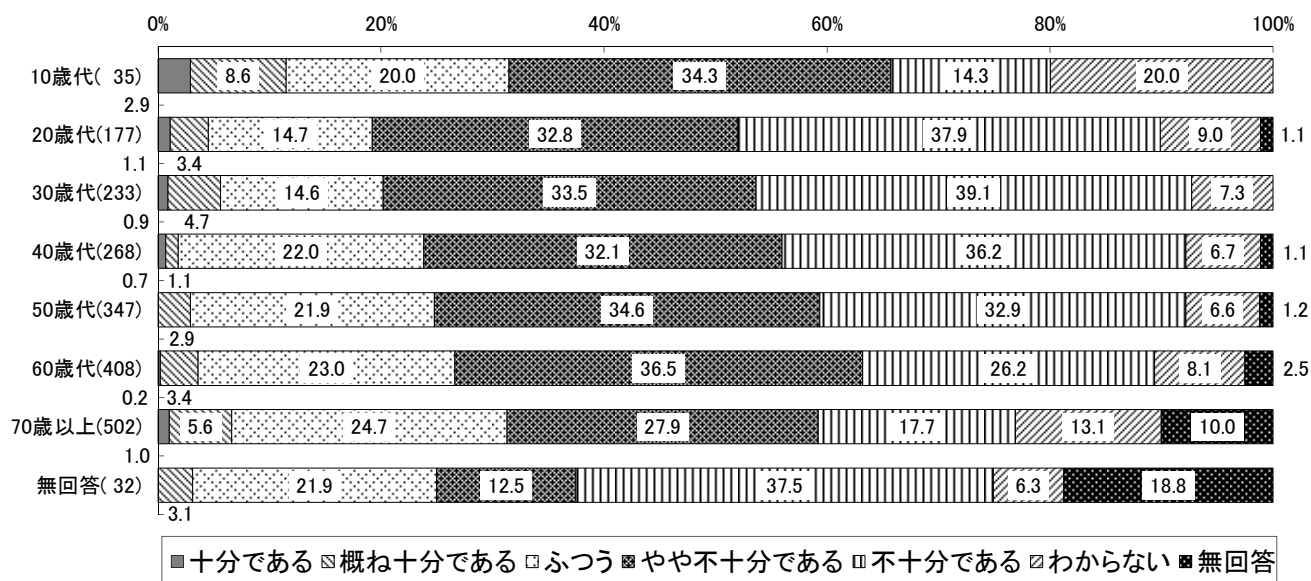
【全体】



【性別】



【年代別】



ウ 次の親世代に対する支援の充実強化（質問1-6-3）

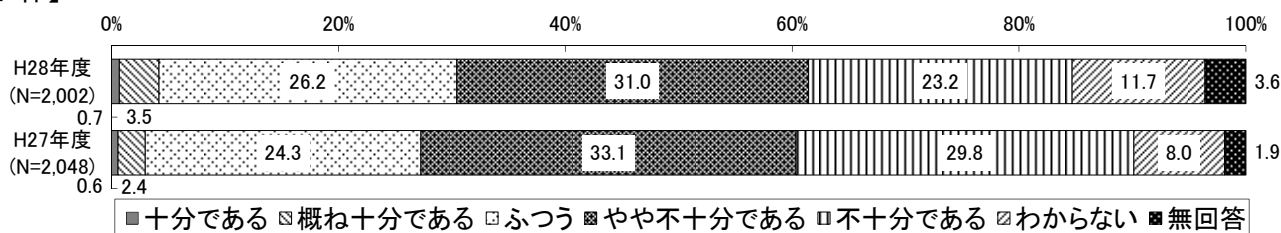
全体では、「十分である」が0.7%、「概ね十分である」が3.5%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の26.2%を合わせると肯定的に感じている人は30.4%となっている。「不十分である」の23.2%と「やや不十分である」の31.0%を合わせて5割を超える人が不十分であると感じている。「わからない」は11.7%となっている。

前年度からは、全体として僅かながら評価は良くなっている。

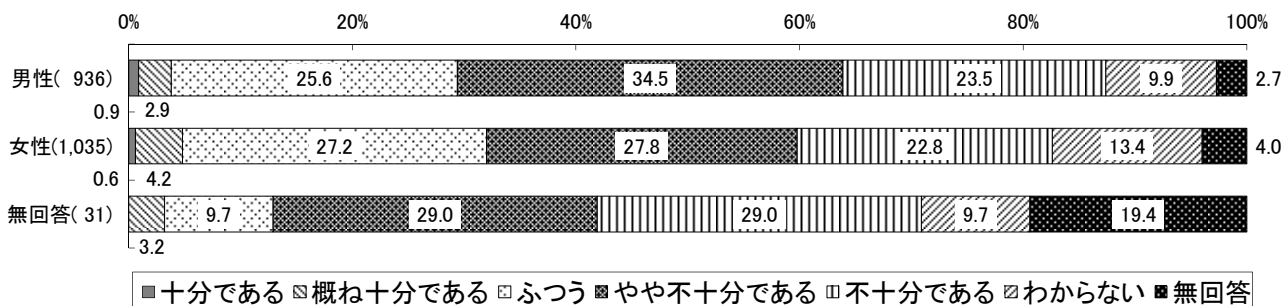
性別では、男性の方がやや低い評価となっている。

年代別では、「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合は20歳代で65.0%、30歳代で65.3%と、他の年代に比べ高くなっている。

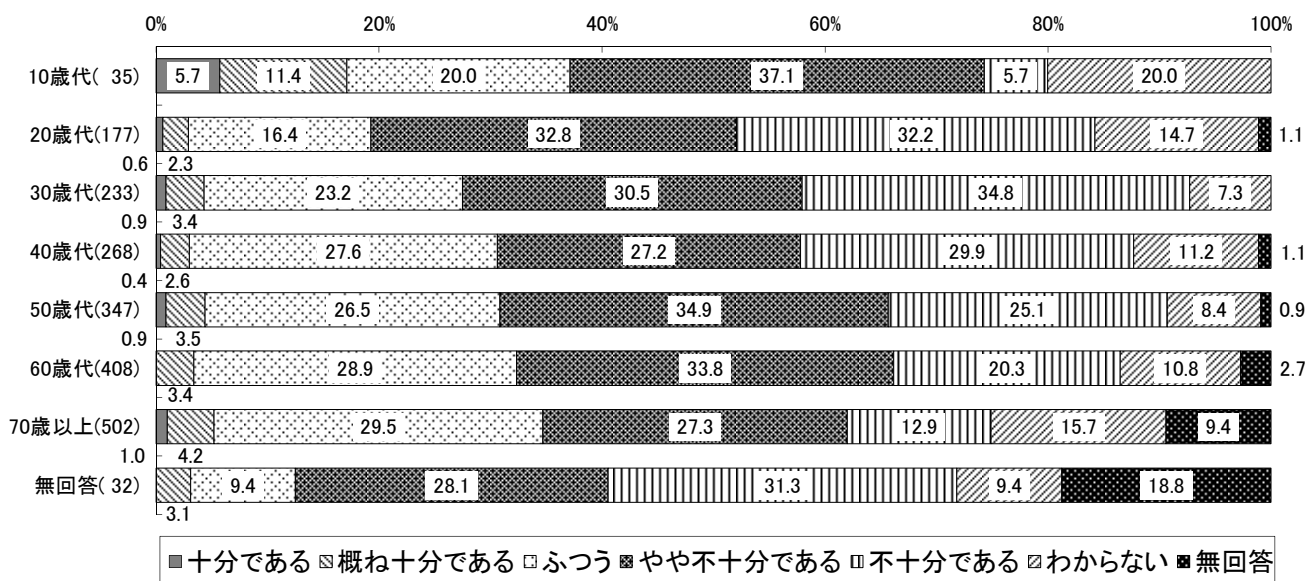
【全体】



【性別】



【年代別】



エ 子どもを産み・育てる環境の充実強化（質問1-6-4）

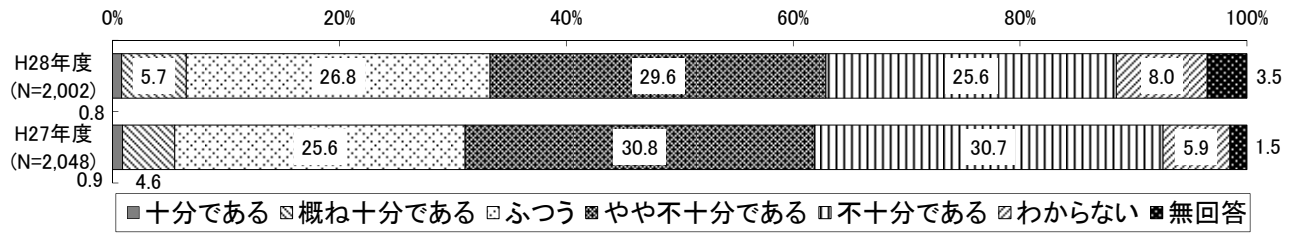
全体では、「十分である」が0.8%、「概ね十分である」が5.7%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の26.8%を合わせると肯定的に感じている人は33.3%となっている。「不十分である」の25.6%と「やや不十分である」の29.6%を合わせて5割以上の人の不十分であると感じている。「わからない」は8.0%となっている。

前年度からは「不十分である」の割合がやや減少している。

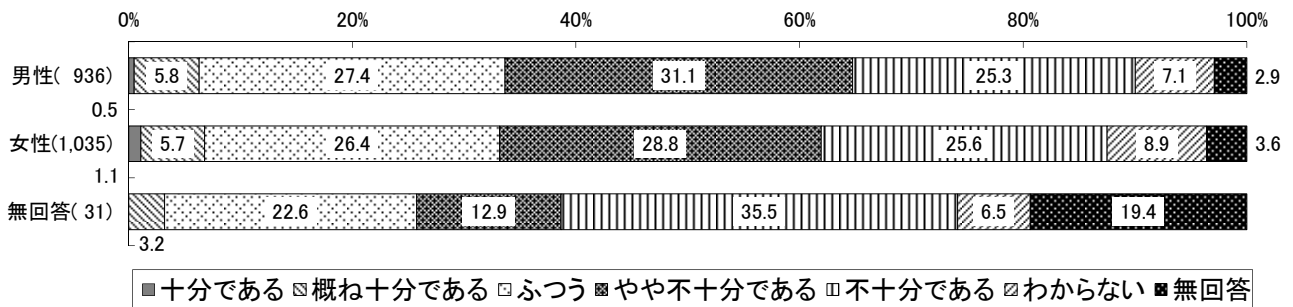
性別では、大きな違いは見られない。

年代別では、「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合は、20歳代～40歳代で6割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

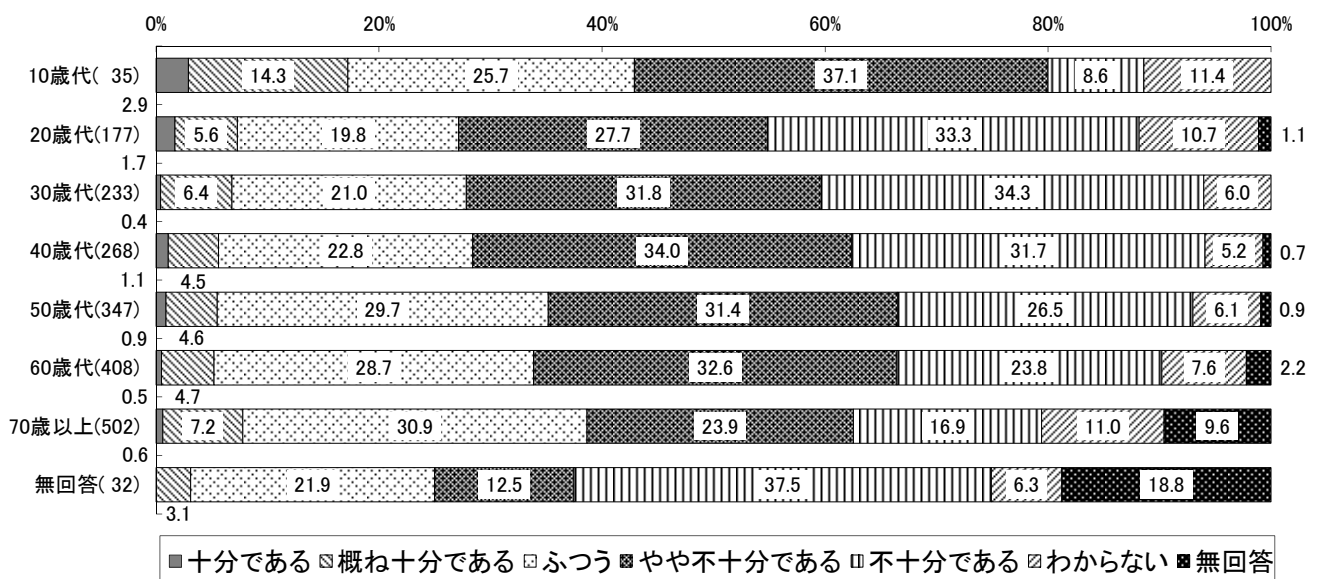
【全体】



【性別】



【年代別】



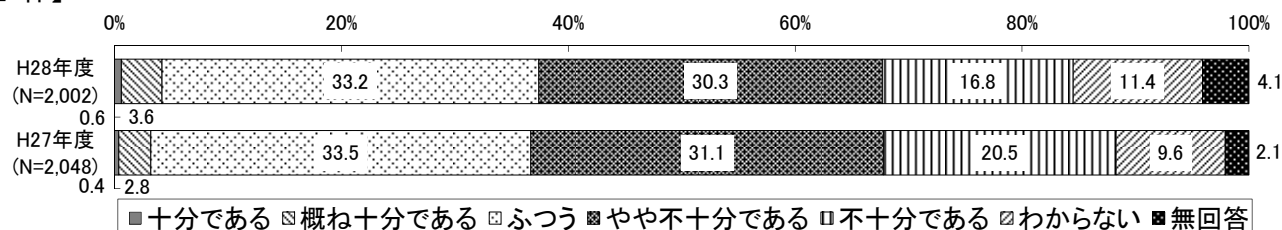
オ 地域の人材や資源を生かした地域力の向上（1-6-5）

全体では、「十分である」が0.6%、「概ね十分である」が3.6%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の33.2%を合わせると肯定的に感じている人は37.4%となっている。「不十分である」の16.8%と「やや不十分である」の30.3%を合わせて約5割の人が不十分であると感じている。「わからない」は11.4%となっている。

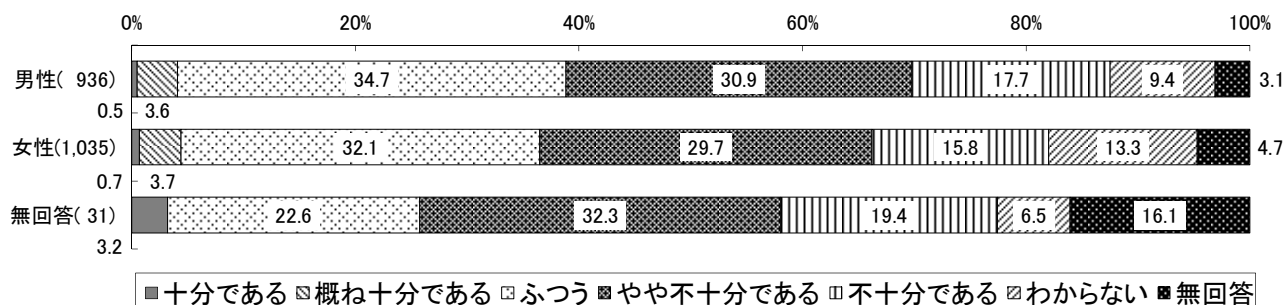
前年度からは大きな変化は見られず、性別でも大きな違いは見られない。

年代別では、「不十分である」、「やや不十分である」とする割合は40歳代～60歳代で5割を超え、他の年代に比べ高くなっている。

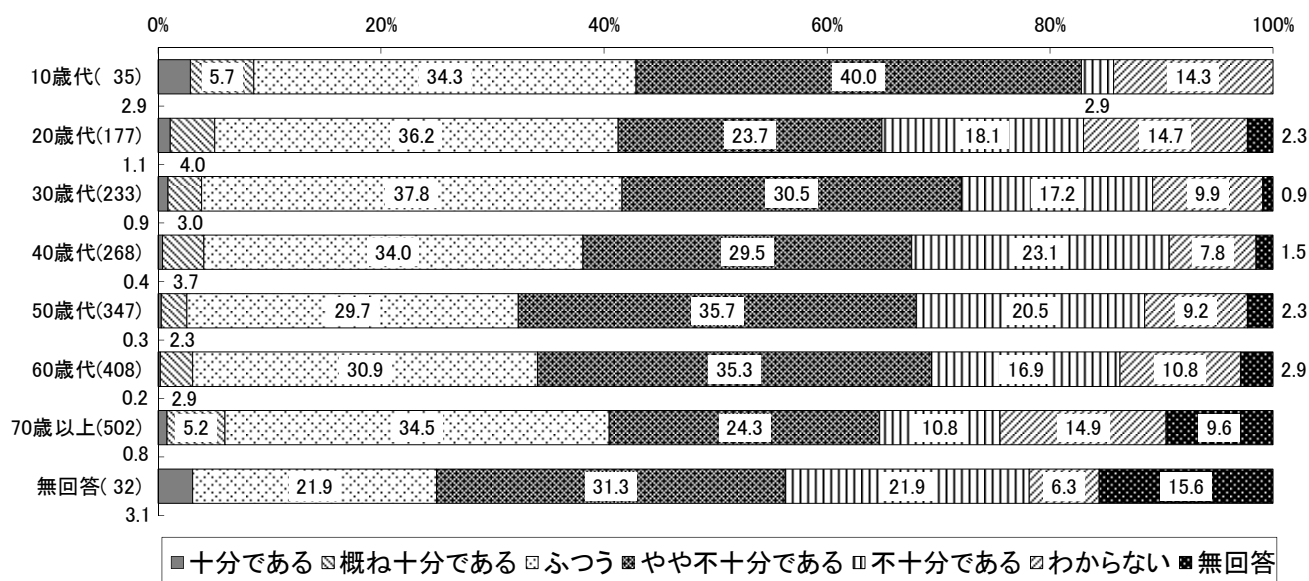
【全体】



【性別】



【年代別】



カ 人口減少社会を踏まえた地域の活性化への取組（質問1-6-6）

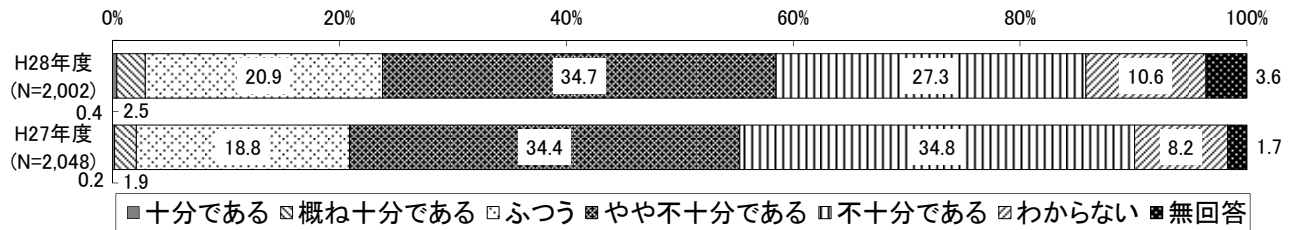
全体では、「十分である」が0.4%、「概ね十分である」が2.5%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の20.9%を合わせると肯定的に感じている人は23.8%となっている。「不十分である」の27.3%と「やや不十分である」の34.7%を合わせて約6割の人が不十分であると感じている。「わからない」は10.6%となっている。

前年度からは「不十分である」がやや減少している。

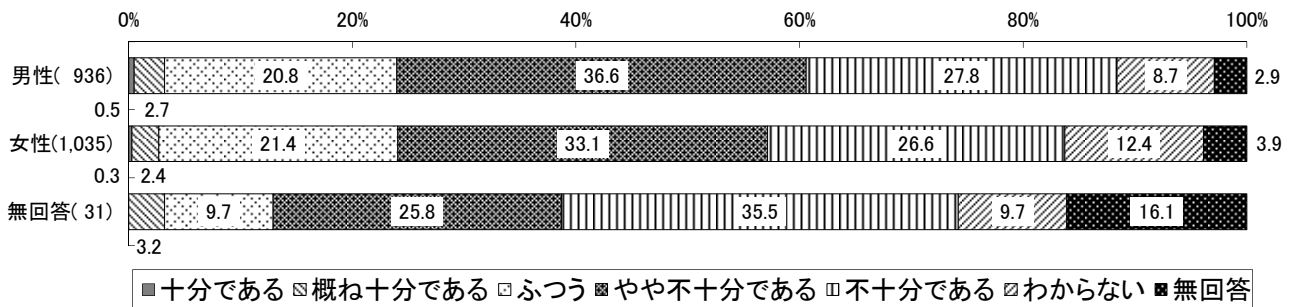
性別では、大きな違いは見られない。

年代別では、他の取組と比べ年代による違いはあまり見られない。

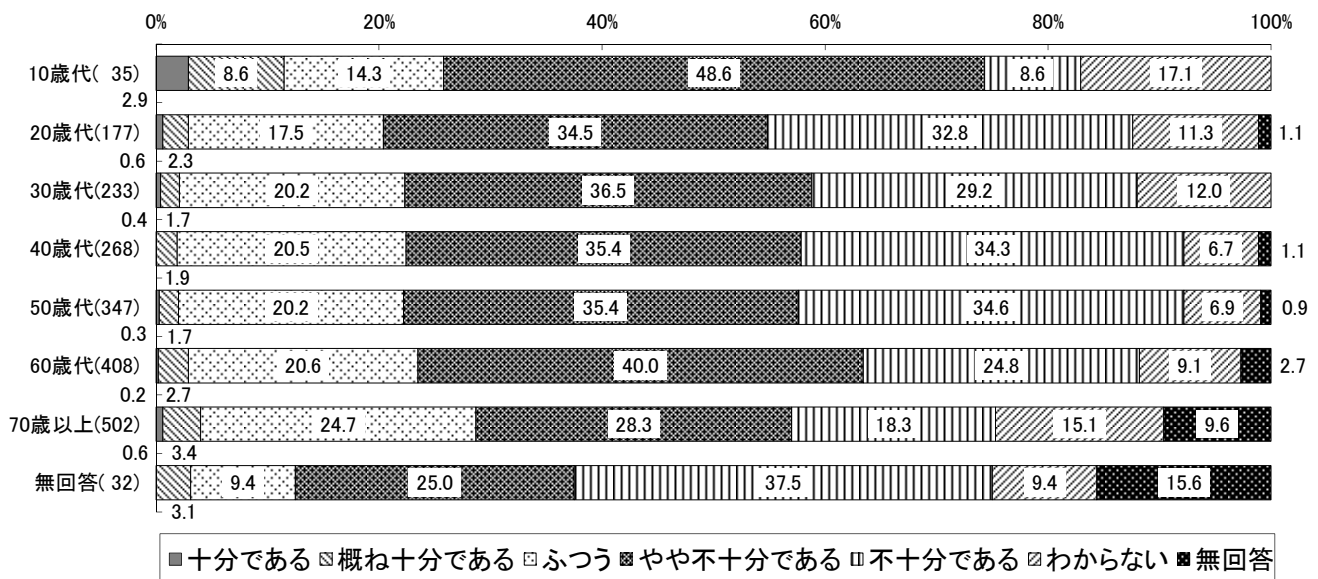
【全体】



【性別】



【年代別】



キ 「協働」の多様な担い手の確保と活動の促進（質問1-6-7）

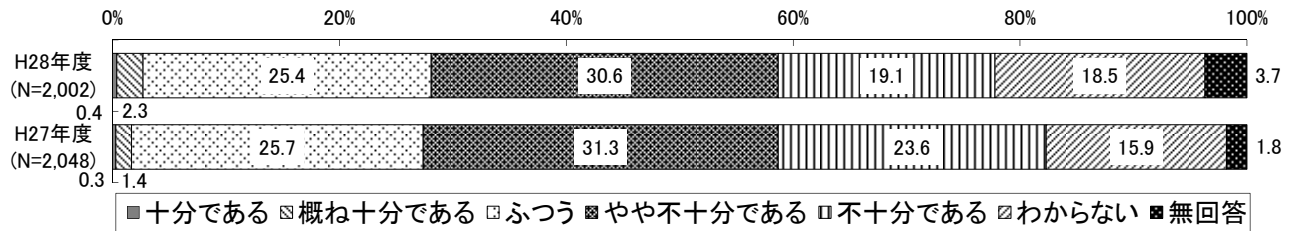
全体では、「十分である」が0.4%、「概ね十分である」が2.3%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の25.4%を合わせると肯定的と感じている人は28.1%となっている。「不十分である」の19.1%と「やや不十分である」の30.6%を合わせて約5割の人が不十分であると感じている。「わからない」は18.5%となっている。

前年度と大きな変化は見られない。

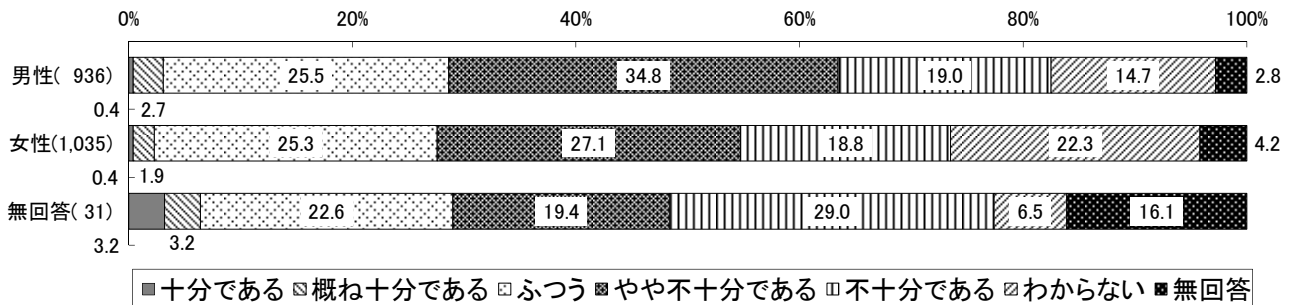
性別では、女性で「わからない」とする割合がやや高くなっている。

年代別では、「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合が40歳代で55.9%、50歳代で60.5%と、他の年代に比べ高くなっている。

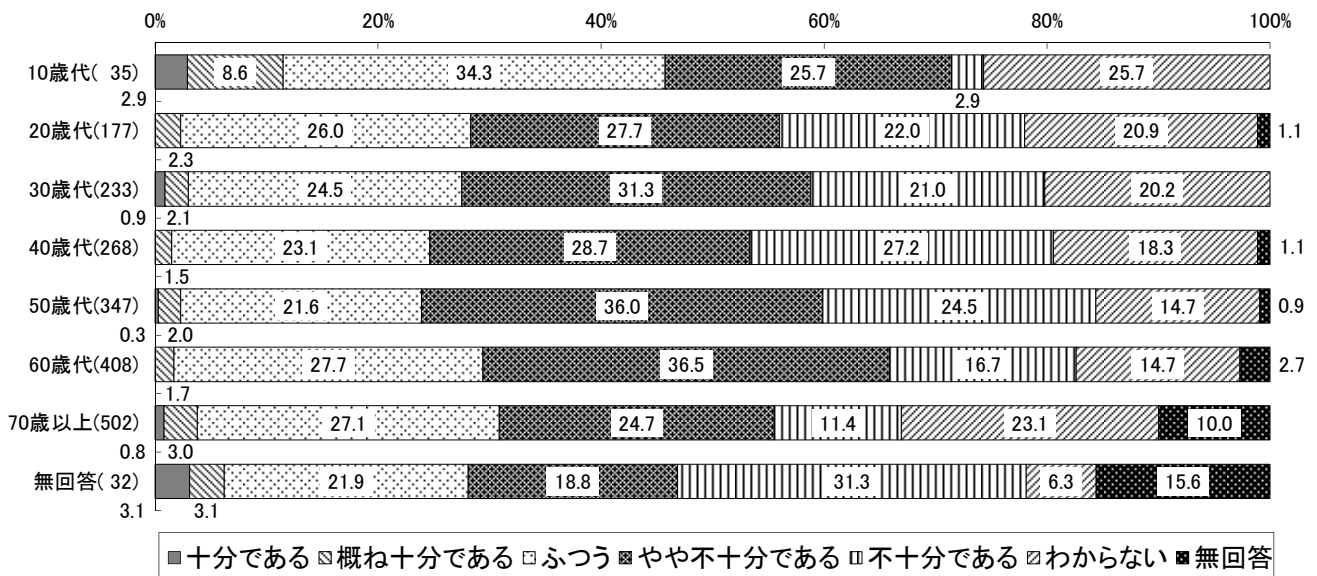
【全体】



【性別】



【年代別】



ク 県と市町村の協働の推進（質問1-6-8）

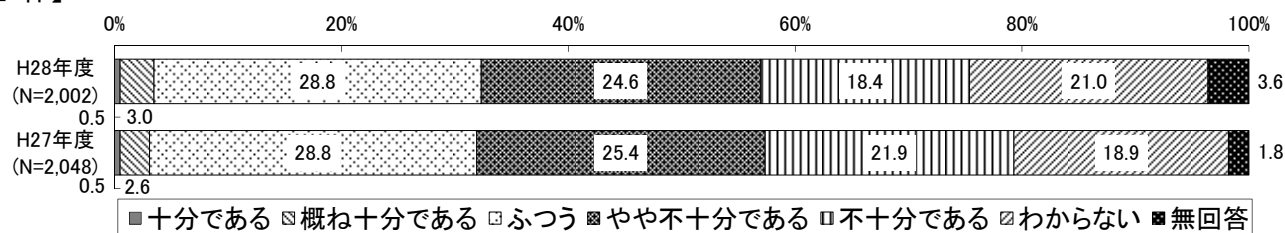
全体では、「十分である」が0.5%、「概ね十分である」が3.0%となり、十分であると感じている人は非常に少ない。「ふつう」の28.8%を合わせると肯定的と感じている人は32.3%となっている。「不十分である」の18.4%と「やや不十分である」の24.6%を合わせて約4割の人が不十分であると感じている。「わからない」が21.0%と他の取組と比較して高くなっている。

前年度から大きな変化は見られない。

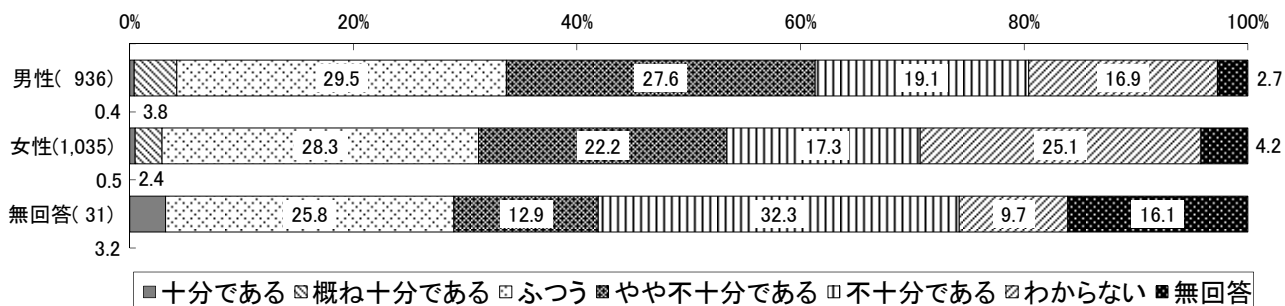
性別では、女性で「わからない」とする割合が特に高くなっている。

年代別では、50歳代で「不十分である」、「やや不十分である」を合わせた割合が51.6%と他の年代に比べ高くなっている。20歳代では「わからない」とする割合が25.4%と他の年代に比べ高くなっている。

【全体】



【性別】



【年代別】

